



# えんぶ

ENBU

旬の“演劇”と  
コラボレーションを楽しむ！

## INTERVIEW

中村橋之助  
市川男寅  
益岡徹  
寺島しのぶ  
高田聖子  
佐藤流司

つかこうへい17回忌特集

馬場徹  
味方良介  
石田明  
菅井友香  
新内眞衣

## STAGE & REVIEW

劇団☆新感線  
『爆烈忠臣蔵～桜吹雪THUNDERSTRUCK』  
ミュージカル  
『十二国記 -月の影 影の海-』  
『デスノート THE MUSICAL』  
宝塚宙組  
『PRINCE OF LEGEND』

## STAGE & INTERVIEW

カムカムミニキーナ  
『くまむく』  
松村武・八嶋智人

# 井上芳雄

表紙のヒト

# 井上芳雄



つかこうへい十七回忌特別公演



WRITTEN BY TSUKA KOUHEI  
DIRECTED BY NAKAE ISAMU

KIMURA DENSE : ARAI ATSUSHI  
MIZUNO TOMOKO : OHARA YUNO & MURAYAMA YURI  
OYAMA KINTARO : YOKOTA TAIGA & HYAKUNA HIROKI  
KUMADA TOMEKICHI : TAKAHASHI RYUKI

TRIANGLE

脚本・演出 伊藤裕一



※開場は開演の30分前、当日券販売は開演1時間前より。※未就学のお子様のご入場はお断りいたします。

チケット  
料金 10,000円 (全席指定・税込)  
発売開始 2026年1月17日(土) ~



▲取り扱い: イープラス <https://eplus.jp/triangle2026/>

公演情報はコチラ

アクセス  
新宿村LIVE  
SHINJUKUMURA PERFORMING THEATER  
東京都新宿区北新宿2-1-2  
丸の内線[西新宿駅][1番出口]徒歩7分





この PDF は広告見本用データです。  
本文は省略しています。



E N B U N O . 5 7 F E B . 2 0 2 6

この PDF は広告見本用データです。  
本文は省略しています。

## 表紙のヒト

## 井上芳雄

## STAGE REVIEW

- 010 『ダディ・ロング・レッグズ』
- 012 『デスノート THE MUSICAL』
- 014 劇団☆新感線  
『爆烈忠臣蔵～桜吹雪 THUNDERSTRUCK』
- 016 ミュージカル  
『十二国記～月の影 影の海～』



表紙撮影△中村嘉昭

## STAGE &amp; INTERVIEW

- 018 カムカムミニキーナ『くまむく』  
松村武・八嶋智人
- 028 坂本企画『さりゆくものみな』  
坂本涼平



## 宝塚 kaleidoscope

- 022 宝塚宙組  
『PRINCE OF LEGEND』
- 024 シバイのミカタ



## Stage Bomb!

- 030 中村橋之助・市川男寅
- 032 寺島しのぶ
- 034 益岡徹
- 036 高田聖子
- 038 佐藤流司
- 040 内藤大希・伊藤裕一
- 042 稲場愛香

## 044 南座『曾根崎心中物語』

## つかこうへい十七回戻特集

- 046 馬場徹 味方良介 石田明  
菅井友香 新内眞衣  
荒井敦史・村山彩希

## 橋涼香のミュージカルニューエイジ

- 050 豊原江理佳

## えんぶ創刊40年記念企画(1)

- 054 [特集] “旬”的演劇人に聞きました！

わたしの  
忘れられない一作！

栗根まこと 荒井敦史 池谷のぶえ イトウシンタロウ 稲葉賀恵  
加納幸和 鴻上尚史 近藤良平 白井晃 シライケイタ 高田聖子  
田口トモロヲ 寺島しのぶ 豊原江理佳 那須凜 益岡徹 松尾諭  
松村武 南沢奈央 洪明花 八嶋智人 大和悠河 横内謙介



- 052 ワワフラミングのキャンセルみかん 第47回

- 060 インディ高橋のPatcy小道具研究所 R139

- 061 ヨーロッパ企画『アンケーツ オブ ヨロピアン』第30回

- 064 栗根まことの人物ウォッチング 198回 向井理

Edit えんぶ編集部 Design 諸橋藍 内山絵美

えんぶ 第11巻 第1号 通巻57号

2026年1月9日発売 定価700円(本体価格636円)

印刷所：株式会社シナノ 発行・編集人：坂口真人 発行・編集：株式会社えんぶ

〒164-0001 東京都中野区中野3-27-16

TEL:03-3229-2424 FAX:03-3229-2423

# 井上

表紙のヒト

過去を知り、  
未来に活かす大切さを  
伝えていきたい

# 芳雄



ミニニアムの2000年のデビュー以来四半世紀、ミュージカル界のトップランナーとして走り続ける井上芳雄。その精力的な活動は、ミュージカルというジャンルの魅力をひとりでも多くの人に知つてもらいたい、という内なる情熱を常に感じさせている。一方で、井上の台詞劇、ストレートプレイへの取り組みも、長年途絶えることなく続いている。あくまで真摯な姿勢が、数々の研ぎ澄ました作品を生んできた。

そんな井上が2026年に出演するのが、2月明治座で上演される『大地の子』だ。山崎豊子による同名小説初の舞台化作品で、時代に翻弄され戦争孤児となつた少年が辿る、壮絶な半生を描き、当時何が起きたのかを現代に問う骨太な舞台が展開される。その舞台で主人公・陸一心を演じる井上が、作品に臨む想いを、演出を担当する栗山民也から受けた刺激や共演者など、様々な角度から語ってくれた。

自分たちの話なんだと  
感じた

――『大地の子』の陸一心役を、というオファーを受けた時の気持ちから教えていただけますか？

「まさか」と思った、というのが本音で、本当に驚きました。僕自身上川隆也さんが陸一心を演じられたドラマを夢中になって観ていましたし、その後、原作も何度も読み返してきました。そんな作品が舞台になり、自分が一心を演じられるというのは、奇跡のような巡り合わせだなと。ドラマは家族と一緒に観ていたので、まず両親に知らせたほどです。

――作品のどこが井上さんをそこまで惹きつけたのでしょうか？

ドラマとしての完成度も、演技中の俳優の方々も本当に素晴らしいと思ったらしかったと思いますが、更に原作を読み込み、実際にあったことをもとにしている物語で、しかも決して遠い話ではないことに、思うところがとても多かったです。當時満州には希望と理想があると言わっていただけでなく、満蒙開拓団は各村から何人と決められた人員を出さなければならなかつた。もし僕がその状況に置かれていたら行く可能性もあったし、親が行くと決まれば子供はついて行くしかないですよね。そう考

えました。栗山さんのお手紙を思い出しましたが、この作品を舞台化する意味を改めて感じます。メッセージのなかで栗山さんが繰り返し読んでいたと書かれていた、「シャオハイの満州」という本を、僕もお借りして読んでいますが、そこにはたくさんの取り残された孤児たち、たくさんの“心”がいて、一人ひとりの人生が壮絶なんです。彼らの人生の重みや思いを受け止めて、その記憶を力にしながら、力いっぱい取り組みたいと思います。

演劇はいまの時代と  
つながっていないと意味がない

――栗山さんがメッセージの中で「素敵な俳優たちが揃つた」と書かれていますが、共演者の皆さんについていかがですか？

そこを自分で読むのがちょっと照れ臭かったんですけど（笑）、本

と「昔つて大変だったんだな」ではとてもすまない作品で、自分たちの話なんだと感じました。だからこそ、いま舞台にすることに大きな意義があります。

――製作発表会見で、演出の栗山民也さんとのメッセージを井上さんが代読されました。だが、「戦争によってかけがえのない命を奪われた人々に、もう一度言葉を送り、全身を与える。これが演劇の一つの仕事だ」という、栗山さんの信念があふれ出るようでした。

あのメッセージをはじめに代読することになっていたので、製作発表会見に臨む緊張感がすごく大きかったです。が、今回の『大地の子』に対する栗山さんの思いがすべて詰まっています。演劇に対する栗山さんの姿勢や、演劇にできることが、その役割りが緩らげていて。いつも千穂楽にくださる、栗山さんのお手紙を思い出しますし、この作品を舞台化する意味を改めて感じます。メッセージのなかで栗山さんが繰り返し読んでいると書かれていた、「シャオハイの満州」という本を、僕もお借りして読んでいますが、そこにはたくさんの取り残された孤児たち、たくさんの“心”がいて、一人ひとりの人生が壮絶なんです。彼らの人生の重みや思いを受け止めて、その記憶を力にしながら、力いっぱい取り組みたいと思います。

点でどう感じいらっしゃいますか？

一心は長野に生まれ、満蒙開拓団の一員として家族で満州へ渡り、終戦後の混亂で家族全員と離散してしまい、あまりに過酷な状況から記憶も失つてたところを、山西惇さんが演じる中国人教師に助けられ中国人として育ちます。日本と中国の戦中・戦後の歴史を体現するような人物です。舞台には時間の限りがありますから、原作に描かれる一心の壮絶な経験をすべて再現することはできないですし、語りだけで説明される部分もあります。でもだからこそ、そうした経験を経た人物として、如何に説得力を持つ存在でいらっしゃるかが重要だと思っています。僕自身、経験したことではないですし、その時代を知らないことは変えられません。それでも一心を懸命に演じることで、近づきたい。時代の匂いや重さのようなものを如何に表現するかが、最も大切で最大のチャレンジだと思っています。

――その演じる陸一心については、いまの時

本当に素晴らしい方が揃っている

ので、皆さんの手を握りながらやつてきたいです。中国の父である陸徳志役の山西惇さん、日本人としての本当の父親、松本耕次役の益岡徹さんは以前にも共演させていただいていますので、とても心強いですし、生き別れになつた妹のあづ子、中国名張玉(エイコウ)の奈緒(ナオ)。

ただミュージカルがやりたい！と思つてこの世界に飛び込んだ僕は、それまでそんな風に考えたことが全くなかつたので。

——当時はそうだったのでしょうか、いま井上さんご自身が『大地の子』に向かう気持ちを伺つていると、まさに同じ思いでいらっしゃるのですね。過去を知ることは

ういう役をいただくことが多いですね、何かを背負うような。そうした役柄を演じる時には、僕はクリスチャンなので、いつもキリストの姿が頭の中にはあります。

——ああ、『組曲虐殺』の小林多喜二役には、拝見していくもまさにそのイメージがありましたが、まるでキリストのようだということ。寄席にいても苦しいのですが、だからこそ

——職つてもらえるんですか?!

僕はいただきました。今度実家にかえったら、職が上がっているはずです(笑)。

——大きさを実感されることでしうね(笑)。もうひとつ、いまお話を出ました帝国劇場のラスト公演となったCONCERT『THE BEST New HISTORY COMING』で、連日センターを務められました。帝劇

ただきます。いまの自分たちだからできる『大地の子』をお届けし、過去を知つて未来に活かす、力強い2026年のスタートになるよう努めますので、ぜひ劇場で体験、共に有していただけたらこれ以上の幸せはありません。どうぞよろしくお願いします！



演 情 報

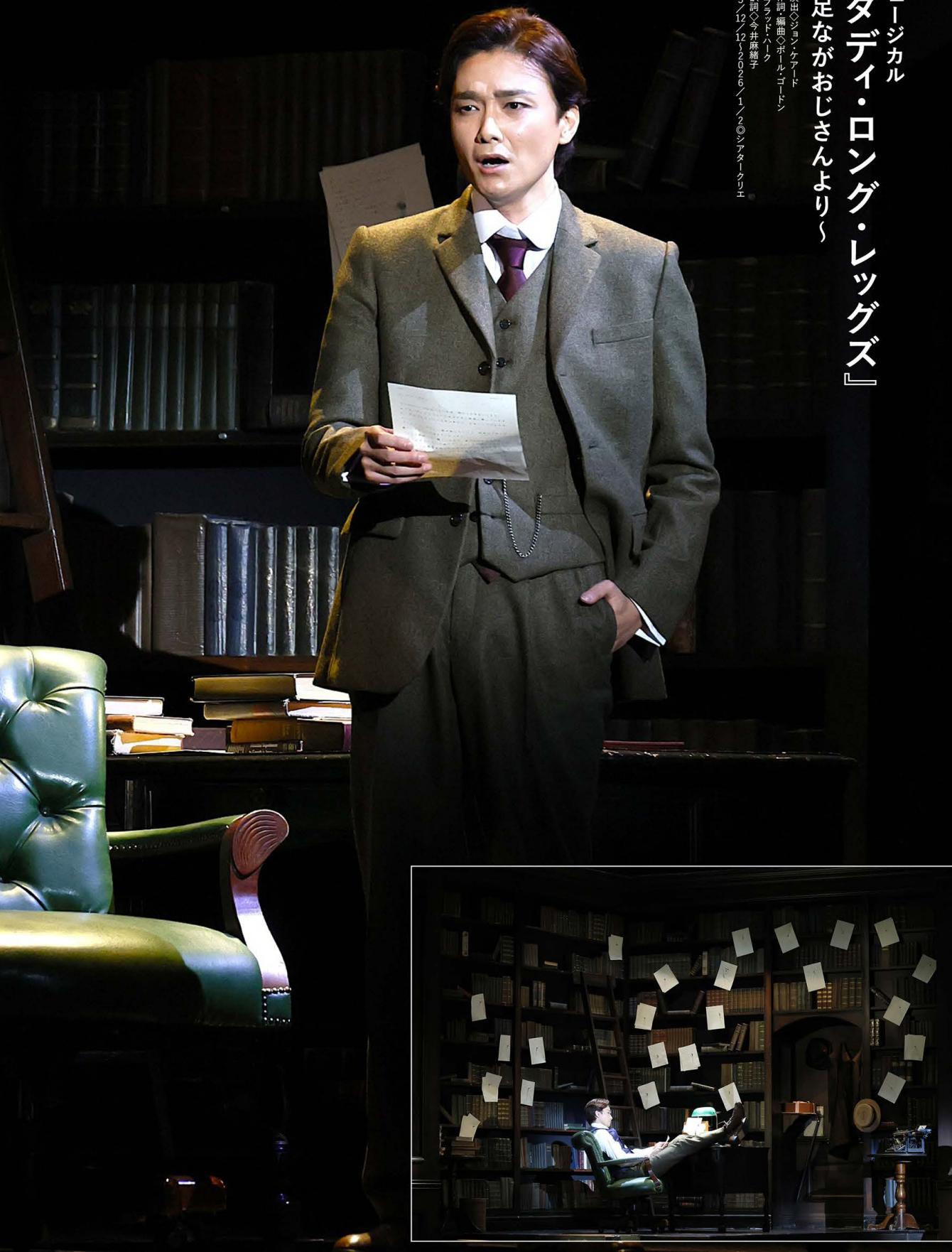
地の子』  
山崎豊子「大地の子」(文春文庫)  
マキノノゾミ  
栗山民也  
井上芳雄 祐奈 上白石萌歌 西野惇 益岡徹  
輔 浅野雅博 ほか  
2/26~3/17◎明治座  
「合わせ」  
レザーベ TEL.0570-00-7777  
~17:00~/ナビディヤル)



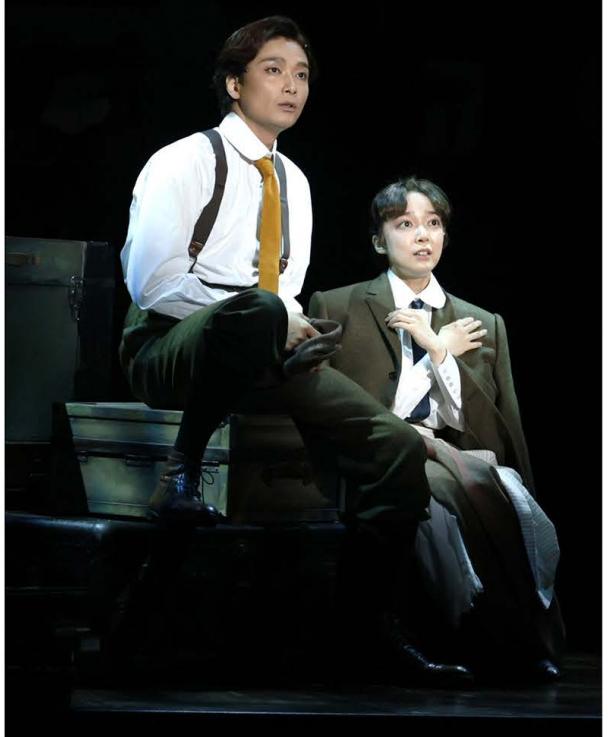
# ミュージカル 『ダディ・ロング・レッグズ』

～足ながらおじさんより～

脚本演出◇ジョン・ケーラー  
音楽作詞・編曲◇ポール・ゴーレン  
編曲◇フレッド・ベーカー  
翻訳・歌詞◇芦井麻緒子  
2025/12/12～2026/1/2 ©シアタークリエ



## 瑞々しい恋物語への飛翔



井上芳雄の輝かしいキャラのなか、ひとつの代名詞的存在になっているのが、このミュージカル『ダディ・ロング・レッグズ』だ。孤児ジル・アボットが自分の才能を認め、高等教育を受けさせてくれる顔も名前も明かさない謎の雑誌家「ダディ・ロング・レッグズ」足ながらおじさん」に宛てて書き綴る形式をとったジーン・ウェブスターの書簡体小説が、ジョン・ケーラー脚本・演出によりブロードウェイでミュージカル化されたのは2009年。その後2012年の日本初演以来、二人芝居で綴られるこの作品のダディ・ヤービス・ベンドルトンを井上が演じ続けている。

この舞台の魅力はなんと言つても、小説を読んでいるだけでは絶対にわからない、ジル・シャの手紙を受け取る側のジャービスが何を思い、何を感じ取っていくかが克明に描かれていることだ。それが受けた井上が、上流階級に生まれながら特権意識などぶりひまつてゐる親族に馴染めず、一族のなかで変わり者扱いされているジャービスが、ジル・シャに寄せていく関心と心情変化を、ちょっととぼれた表現で舞台に横溢さ

せていく様は、まさに独壇場だった。

だが今回2025年の上演で、2022年にジル・シャ役を初めて務めた上白石萌音とのコンビでの井上が、ジル・シャから受け取った最初の手紙から既に、心を深く動かされていることが伝わる、真っ直ぐジル・シャに惹かれていくジャービスを体現したのが新鮮だった。これはこの期間に『ムーラン・ルージュ！ザ・ミュージカル』で、ただ恋にのみ生きようとする純粋で無鉄砲なクリスチャン役を演じた井上のなかに、蓄積されたものが作用しているようと思う。それほど今期の井上ジャービスは自らの不器用な恋に振り回される愛おしさに溢れていて、ジョン・ケーラーの秀逸な演出である、ジャービスの書齋がいつかビンアップされたジル・シャの手紙でいっぱいになつていく舞台面には、美しい切なさが宿つていた。

これが初演からジル・シャを演じ続け、作品を創りあげる過程の相棒、運命共同体である坂本真綾ジル・シャとのコンビではどんな色を見せるのかにも期待が膨らむ、瑞々しい恋物語へと飛翔した舞台になった。

この PDF は広告見本用データです。  
本文は省略しています。

この PDF は広告見本用データです。  
本文は省略しています。



vol.198 向井理

# 栗根まことの人物ウォッシュ

あわねまこと〇劇団☆新感線の理数系知性派役者。その実力は、プロデュース公演などへの出演の多さでも証明されている。●近況「念願のNintendo Switch2を手に入れましたが忙しくてそれどころではありません」

劇団ホチキス「ペイピーブラフ」  
1/28～2/1①本多劇場  
地方公演あり

今回で二度目の共演となります、いまだに言葉の多い向井理さん。まず経歴からして言葉だらけです。明治大学農学部生命科学科の卒論で賞まで取って、大学院に行くかどうか迷って、大学時代のアルバイトから飲食店に就職。お酒が大好き。  
そしてバーテンダーとして働いていた時にスカウトされてデビューしたのです。最初は写真を撮らせてもらっちゃ、撮影も得意。とにかく顔が小さい!  
高身長で、同じ身長の橋本さとくんと並ぶと顔が半分くらいじゃない。  
また、モデルがいる時、モデルの髪型がよく似合ってたみたい。それがきっかけでデビューなんだって。  
不思議な経歴です。実は私も大学で応用微生物学を学んでいたのですが、稽古場の雑談でE.Coli(大腸菌)遺伝子操作の実験で多用される話が好きだったのが嬉しかったですね。まさに新感線の稽古場でE.Coliの話が好きとは思いませんでした。あとがれこいる。楽屋もシンプルで飾り気もない。なのでこのポーズ毎日のルーティンが、コーヒーメーカーでコーヒーを淹れて家から持ってきたご飯にレリートのカレなどをかけて食べるというシンプルなのが、おしゃれというよりも理系男子。でも好きな音楽がダンスミックと聞いて、「リアルパリピ分明じゃん!」と思った事で、グッと親近感が湧いていました!

# 第9回 近松賞

CHIKAMATSU AWARDS 2026

## 戯曲募集

正賞及び副賞 100万円

応募期間  
令和8年5月1日～6月30日(当日消印有効)

### ◆主催

(公財)尼崎市文化振興財團/尼崎市

### ◆名称

近松賞(正式名 近松門左衛門賞)

### ◆応募規定

募集作品は、現代演劇の戯曲とします。

### ◆作品内容

近松作品が發揮した演劇の力強さ、深さ、それを生んだ人間把握の新鮮さとの現代的連携を感じさせる作品。

### ◆応募資格

一切問いません。

### ◆賞

受賞作(1篇) 正賞および副賞100万円  
(副賞には出版権料、上演権料、放送権料、税を含みます)

### ◆応募期間

令和8年5月1日～6月30日(当日消印有効)

### ◆応募方法・応募内容

詳細は下記ホームページをご参照ください。  
<https://www.archaic.or.jp/chikamatsu/prize/>

近松賞 検索



お問い合わせ先・宛先

〒660-0881 尼崎市昭和通2丁目7番16号  
尼崎市文化振興財團「近松賞」係  
TEL 06-6487-0910  
FAX 06-6482-3504



製作 松竹

令和八年  
三月 花形歌舞伎 特別公演

近松門左衛門 原作

# 曾根崎心中物語

尾上右近

中村壱太郎

近松門左衛門 原作  
一、曾根崎心中物語

二、花形歌舞伎特別対談

一幕三場

核プログラム

天満屋お初

中村壱太郎  
近松門左衛門  
平野屋櫻兵衛  
天満屋お初  
尾上右近

平野屋櫻兵衛  
天満屋お初  
中村壱太郎  
近松門左衛門  
松づら

松づら  
天満屋お初  
中村壱太郎  
近松門左衛門  
松づら

松づら  
天満屋お初  
中村壱太郎  
近松門左衛門  
松づら

令和8年 3月3日(火)初日～  
25日(水)千穏座

3月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
午前の部	11:00	桜	桜	桜	貸切	桜	休演	桜	桜	桜	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	
午後の部	15:00	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	松	
夜の部	18:30																						



〒605-0075 京都市東山区四条大橋東詰 TEL 075-561-1155

松竹ホームページ <https://www.shochiku.co.jp>

歌舞伎公式サイト「歌舞伎美人」

<https://www.kabuki-bitto.jp>

## チケット好評発売中

ご予約はチケットホン松竹 ☎ 0570-000-489  
(受付時間／午前10時～午後5時)または☎ 06-6530-0333 電話番号のおかけ間違いにご注意ください。

●窓口販売・お引き取りは12月11日(木)より

●窓口販売用別枠でのお取り置きはございません。

●前売券取扱所／南座・大阪松竹座・歌舞伎座・新橋演舞場 チケットぴあ・Pコード:538-377

イープラス…<https://eplus.jp/minamiza> ローソンチケット…Lコード:54653 <http://l-tike.com/minamiza>

●チケットWeb松竹のお問い合わせは ☎ 03-3545-2200(午前10時～午後5時)

団体のお申込み・お問合せは ☎ 075-561-1155 売場営業まで

ご観劇料(税込 全席指定)

一等席 12,000円 二等席 7,000円

三等席 4,000円 特別席 13,000円

